

# のり海況速報 第13報 (26-13)

平成27年 3月18日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 3/16：内湾(ふさなみ)、3/17：内房北部(ふさなみ)  
 関東・東海海況速報(3/5-18)、東京湾口海況図(3/5-18)  
 自動観測ブイデータ(3/5-18)、拓南観測データ(3/5-18)  
 モニタリングポスト(3/16：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は16日現在おおむね11~12℃前半で、1月下旬から横ばい状態であった水温はやや上昇してきています。塩分はほぼ31~32台で、依然平年よりやや高めになっています。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、中央部の水深20m以深には塩分33.5以上のやや高い水塊がみられています。
- ・内房北部の表層水温もやや上昇し、11℃台後半になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は小康状態でしたが、18日現在湾口部の水温は前日より約2℃上昇し、16℃台の水塊がみられていますので、この動きに注意が必要です。

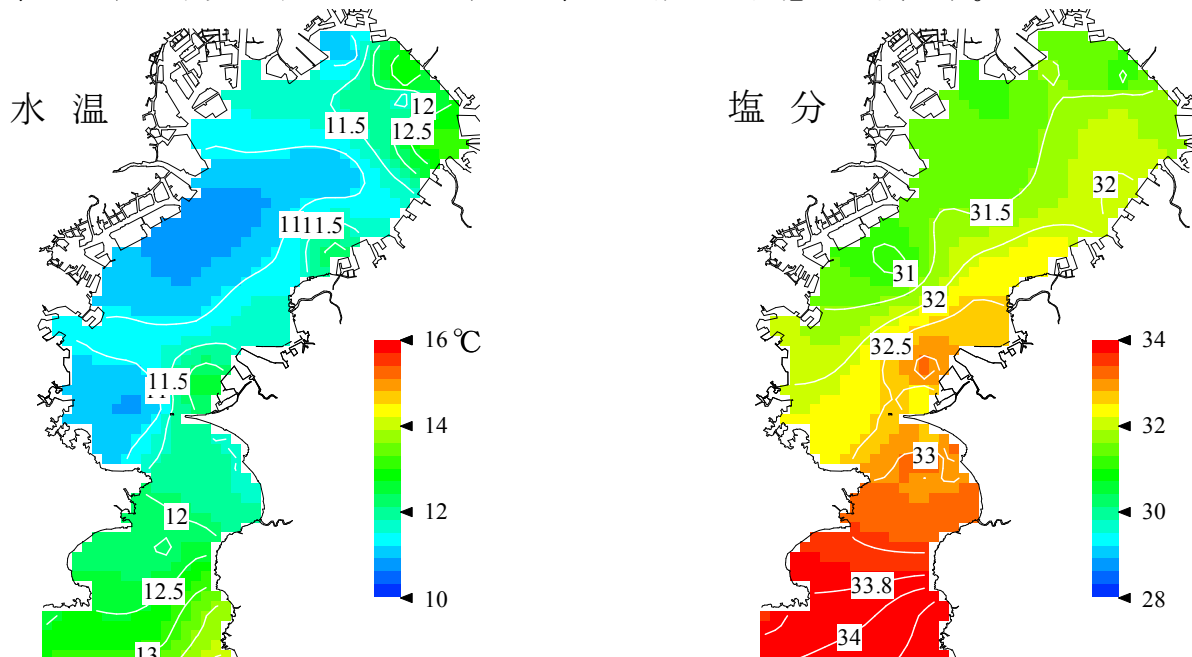


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年 3月16-17日)

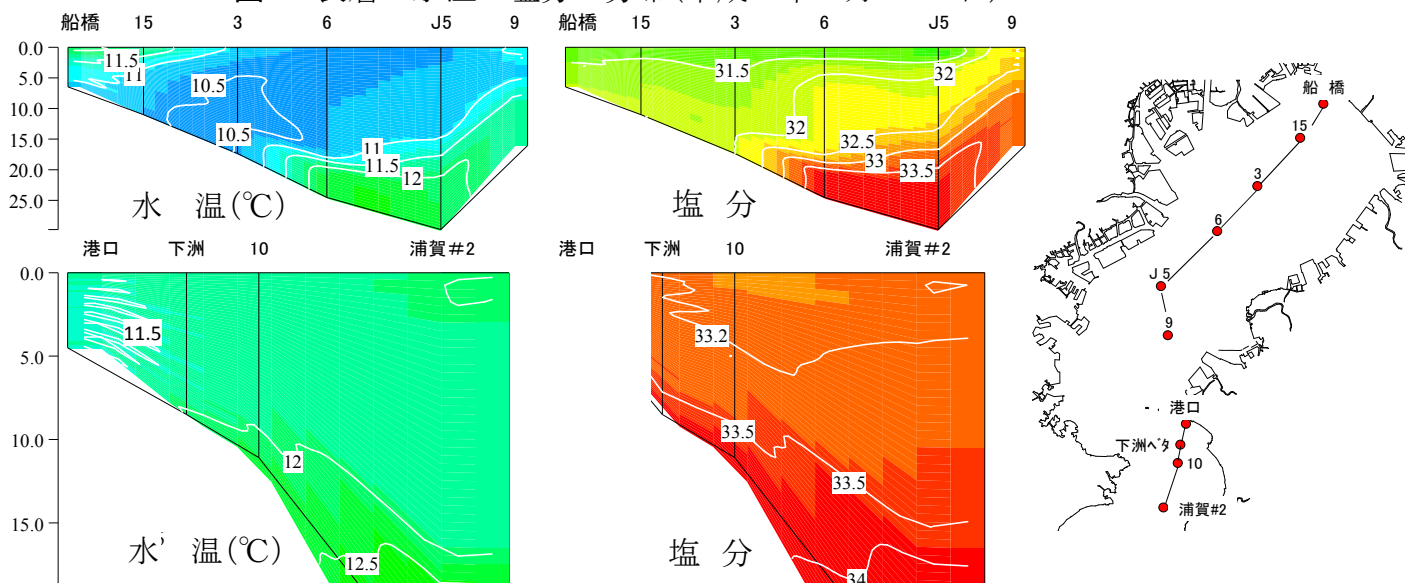


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 3月16-17日)  
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮はアクアライン以北の千葉県側を中心に発生し、千葉北部地区のノリ漁場周辺ではpH8.5～8.6に上昇、透明度は2m前後に低下し、水色も褐色に呈しています。
- 優占種は、ケイ藻のスケルトネマやキートケロスで、タラシオシラも多くみられています。
- のり色落ちの原因となるユーカンピアも僅かにみられます。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)・リン(D I P)とも前回(3/3)よりさらに少なくなり、内湾及び大貫ベタ流し漁場周辺ではリン(D I P)が著しく減少しています。また、大貫ベタ流し漁場周辺では窒素(D I N)も減少しています。
- このように、ノリの色調低下が大きく懸念されるレベルまで低下していますので、注意が必要です。

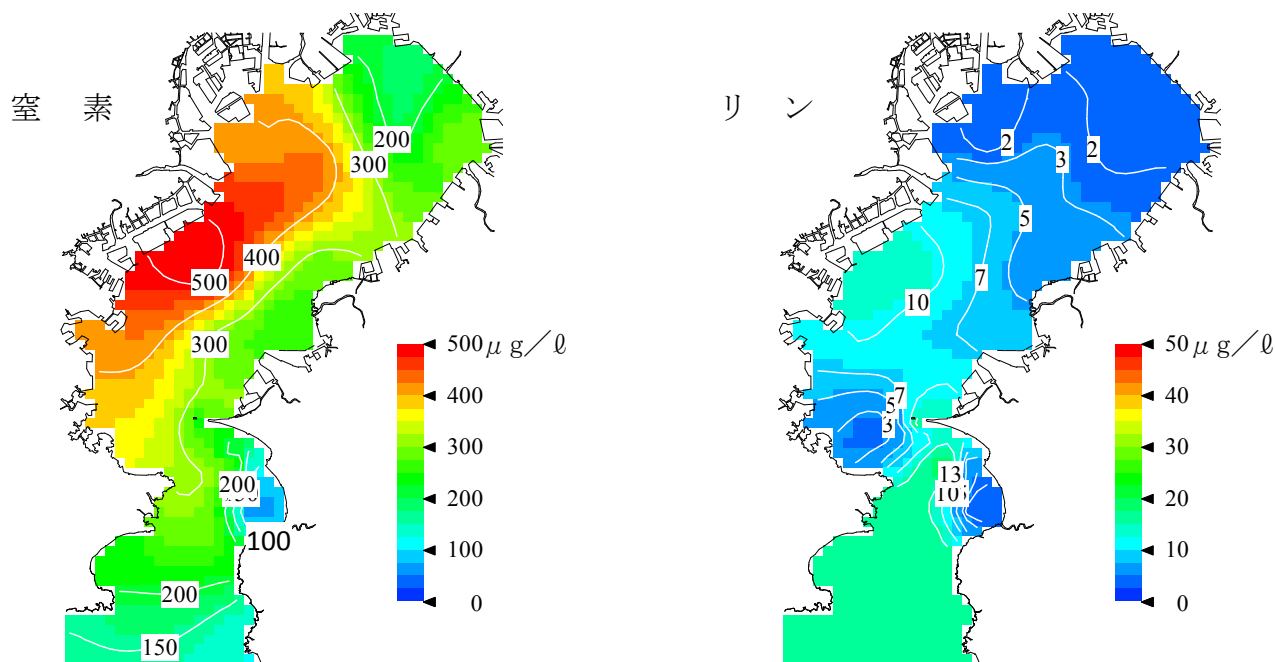


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 3月16-17日)

### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯 : [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)